



オンブズマン練馬代表・区議会議員 土屋としひろ

発行 練馬区豊玉北6-23-6-203
電話/ファクス 03-3991-6343
http://www.ombuds-nerima.com/
メール tsuchiya@ombuds-nerima.com
発行日平成 26 年 7 月 25 日

オンブズマン練馬レポート 2014 年夏号

「練馬区、新病院に関わる重大な背信行為の疑い」 「練馬区の医療情報なら俺に聞いてくれ??」 練馬区の医療計画資料すべて事前漏えい!!

何と区の医療計画すべてに関わる「練馬区地域医療計画策定検討委員会」の委員として、
新設病院の統括法人「ヘルスケアシステムズ」の社外取締役が潜入。
オンブズマン練馬区議土屋としひろに議会で指摘されるまで、区健康部長も全く知らない有様。
しかもこの医療法人は、過去に国と他の自治体から補助金6億1千万円不当収受の前歴も!!
更に練馬区は、病院敷地として2億2千万円の用地無償供与を計画したが、
これも当初計画との違いを土屋に指摘されて苦渋の変更をし、有償賃貸の貸付となった。

経過解説:

練馬区に於いて区西部地区に新病院が計画され、既に東京都より67床が割り当てられ現在建設計画進行中の段階である。当該医療法人名は当初ひた隠しにされ、疑問を持ったオンブズマン練馬区議土屋としひろが板橋区の竹川病院を中心とする「医療法人健育会」であることを指摘してきた。練馬区ではこの病院建設に関わる用地等について地主との折衝など仲介に当たり利便を図っている。練馬区の新設病院問題は「練馬区地域医療計画策定検討委員会」が審議を行って計画が進められてきたが、この委員会の中心メンバーである東邦大学医学部教授「長谷川友紀」氏は、何と、健育会 竹川病院の統括法人(株)ヘルスケアシステムズの社外取締役であり、公正であるべき行政の政策審議決定を行う立場に在籍してはならないし、利権に絡む背信行為を疑われても致し方ない。

更に、この医療法人健育会は、過去に静岡県伊豆の熱川温泉病院建設に際し、国と静岡県から6億1千万円の補助金を不当収受し、国会の審議で追及され、逃れようと政治的な画策を行ったが裁判で敗訴が確定する直前にこの補助金を返還すると云う前歴がある。

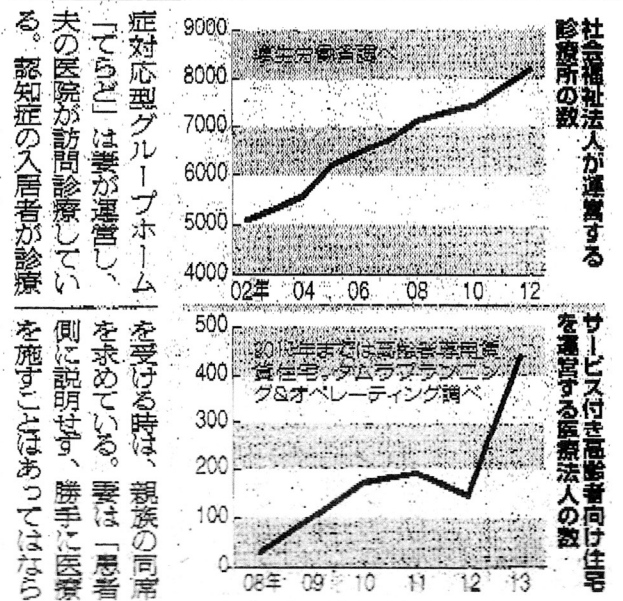
今回の練馬区における病院建設計画は、当初200床で申請したが、3分の1の67床しか認可されず、病院経営には難しいと思われたが、突如100床の老人健康施設(老健)が併設されることとなった。練馬区は、既に「健育会」が区内氷川台に「老健」を建設中であり、病院建設に関しては通常、事前に計画を明示するにもかかわらず、今回は最終発表まで医療法人名すら隠蔽し、明らかにしないなど、すべての面で不透明な事実が多くなっている。

当初より、この病院計画に対しては「練馬区は一切の金銭補助を行わない」と「純然たる民間独自の事業計画」であると明言していたにもかかわらず、3月11日の予算特別委員会の審議に於いて、

与党議員に質問させ、「区はあらゆる援助を惜しまない」と言明するなど明らかに癒着が疑われる状況である。

この新病院計画は、病院と介護施設「老健」が併設されるが、近年同一グループ内における医療施設と介護施設間での利用者囲い込み(患者キャッチボール)が行われるケースが国内各地で深刻な問題となっているところでもあり、運営上、厳正な不正監視が必要である。

診療所が隣接している高齢者施設は、入居者やその家族にとっては安心できる面がある。ただ運営者が同じだったり、親族同士だったりするとチェックが甘くなり、患者は必要以上の医療を押しつけられ、医療費の無駄遣いにつながる恐れがある。過剰診療を防ぐ規制がないまま、両施設を運営する団体は増えている。入居者が望まない医療を提供しないよう、自主的にルールを定めている施設もある。京都府向日市の認知症対応型グループホーム「てらと」は善が運営し、夫の病院が訪問診療している。認知症の入居者が診療



施設と診療所、一体運営 押しつけ医療の懸念も

朝日新聞

土屋としひろのプロフィール

S13年東京生まれ、都立小石川高校卒、早稲田大学卒、会社経営。
H2年練馬区役所新庁舎建設の不正を追及。岩波前区長に名誉毀損で500万円請求の脅し訴訟される。元日弁連会長らを相手に弁護士なしで最高裁まで戦い完全勝訴。さらに本人訴

訟で10件の行政訴訟提訴。区長公用車温泉旅行、職員カラ残業、総務部長収賄等区政の不正を追及。区議1期で区長選惜敗。住民の権利、高齢者問題を監視。現在区議3期目、20年以上にわたりオンブズマンとして区政の不正を次々と追及し練馬区政を監視。